



絵本で心がワクワク、ほっこり…
 『しまだともみワールド』へようこそ

絵本作家
しまだ ともみ さん



愛

らしい絵で大人のファンも多い市内在住の絵本作家、しまだともみさんにお話を伺いました。

しまださんは美術大学を卒業後、絵本の専門学校を経て、雑誌やCDジャケットなどを手がけるフリーのイラストレーターとして活躍し、平成18年に「イーラちゃんといじわるツリー」の作品で、絵本作家を発掘する「タリーズピクチャーブックアワード2006」の最優秀賞に輝きました。現在は絵本制作の他、宇都宮メディアアーツ専門学校の教官やイーラちゃんシリーズの読み聞かせコンサートを全国で開催するなど、精力的に活動しています。



どんな子どもでもしたか？

市内で生まれ育った私は、男の子と一緒に探検ごっこなどで遊ぶとても活発な子どもでした。その頃の夢は、父親の跡を継いで「魚屋さん」。でも、絵を描くことは昔から大好きで、物心ついた頃にはいろんな人に「絵を描いて」とお

ねだりもしていたみたいです。



絵本に登場する元気いっぱいイーラちゃんは、どのように誕生したのですか？

私がパレットクラブスクール（専門学校）で学んでいた頃、イライラしたときによく描いていた落書きから生まれたキャラクターです。周りからよく、私に似てるといわれていました。



絵本のアイデアはどう生まれるのですか？

突然、降りてきます(笑)。座ってじっくり考えるのではなく、日常生活の中で、突然生まれます。



しまださんにとって絵本とは？

ワクワクさせてくれるもの。何もなくとも絵本のことを想像するだけで楽しむことができます。一生、あきることがないですね。心がほっこり温かくなって、思わず「ニヤリ」としてしまふものが好きです。



しまださんの今後の活動を教えてください。

9月10日(土)〜10月2日(日)に小杉放蕨記念日光美術館で「しまだともみの世界〜絵本の枠を超えて〜」の展覧会を開催します。皆さんに見ていただきたいですね。現在、JR宇都宮駅の駅ビル「パ



しまださんの絵本

しまだともみオフィシャルサイト：
i-rachan.com/

セオ」で、「階段絵本」を見ることができます。総延長約45mの階段の壁に、イーラちゃんと仲間たちが県内各地で遊ぶ様子が楽しく描かれています。また先日、「魔法の宅急便」の原作者角野栄子さんの文に私が絵を描いた「じてんしゃギルリギルリ」が出版されました。ぜひ、ご覧ください。

♥**インタビューを終えて**：

取材中、柔和な雰囲気どころどころと笑うしまださん。

一方で、「描きたいことがたくさんあって…」と創作意欲に燃え、生き生きと話すしまださんの姿は、好奇心旺盛なイーラちゃんとなんと重なって見えました。



イーラちゃん